

学生教職支援センターは、あなたの教職に就く夢を叶えます！

未来への挑戦



宮崎国際大学 学生教職支援センター通信 2024年9月発行

学生教職支援センターは、教育学部と国際教養学部教職課程履修生を対象に、学生の教職に就く夢を叶えるために保育所や幼稚園・小学校や中学校の教育実習等のお世話と教員採用選考試験対策を実施しています。

今号の特集記事 / 教員採用試験が大きく変わります！

教員採用選考試験の早期化と複数回実施

祝 教員採用選考試験合格！！ 現役生の合格速報 <9月8日現在>

宮崎県小学校教諭22名合格

大分県小学校教諭1名合格

宮崎県中学校英語教諭1名合格



令和6年度公立学校教員採用選考試験の状況

小学校の教員を目指して、宮崎県23名・大分県1名・熊本県1名・福岡市2名・東京都1名の合計28名が教員採用試験の一次試験を受験しました。また、中学校と高校の英語教員を目指して、宮崎県中学校1名・宮崎県高校1名・熊本県高校1名の3名が受験しました。一次試験では小学校28名全員が合格するとともに、中学校1名・高校1名が合格しました。一次試験に合格した30名の中から、小学校23名と中学校英語1名が二次試験に無事に合格しました。なお、熊本県・福岡市・東京都を受験した残りの5名については、9月中旬に結果が出ます。合格した皆さんおめでとうございます。

平成7年度教員採用選考試験の二次試験合格者の声

教育学部4年 久保田亘喜（宮崎県小学校合格）

私は、二次試験対策に当たり、とにかく回数をこなし、慣れるようにしました。ただやるだけでは誰でもでき、自分のレベルを効率的に向上させることができないと考えました。そのため、面接・模擬授業・グループワークなどは録画したものをもとに文字起こしをし、推敲しました。また、模擬授業での自分の癖を書き出し、自己分析を徹底しました。

教員採用試験現役合格に向け、大学内で学外講師や学生教職支援センターの先生方が中心となり、教員採用試験対策をしてくださいました。これに参加をすることで、積極的に自分で動くこと、コツコツ積み上げることができました。合格に導いてくださいました多くの先生方に感謝いたします。本当にありがとうございました。

国際教養学部4年米山優太（宮崎県中学校英語合格）

私が教員採用試験合格に向けて努力したことは勉強の効率化です。宮崎県の過去の点数割合や出題傾向を分析し、どの分野にどれだけ力を入れればいいのかを考え、時間や分量を分けて勉強しました。専門教科(英語)では文法書を学んだり、リスニングを毎日欠かさずしたりしました。

対策講座では、5名の先生方からビシバシとご指導をいただき、教えられたことは必ずその日に復習をしました。対策講座を一回も休まずに受講したことが合格につながったのではないかと思います。受講中は辛かった時もありましたが、今では全部の講座を休まず受講してよかったと感謝をしています。

また、自分自身が不安になったり、辛くなったりした時には先生方が優しくサポートしてくださりとても心の支えになりました。辛い時や悩んだ時は、必ず先生方に相談しに行ってください。必ず支えになると思います。「プレッシャーを楽しむ！」それが合格への第一歩です。

特集記事

教員採用試験が大きく変わります！

―教員採用選考試験の早期化と複数回実施―

民間企業の採用活動は概ね6月から始まり内々定が早期化しています。また、一般公務員の採用試験も教員よりも早期化していることから、教員志願者の一部が民間企業や他の公務員に流れているという指摘があります。

このような中、文部科学省は近年の倍率低下や受験生の減少などの動向を踏まえ、教師志願者の増加を図り、質の高い教師の確保に繋げる観点から、教員採用試験の早期化を進めるという方向性を示しました。そのため、平成7年度(6年度実施)の教員採用試験一次試験日の標準日として6月16日を全国のエducational委員会に指定しました。その結果、九州地区では昨年度よりも約1か月間の前倒し試験となりました。

しかし、依然として教員採用試験受験者の減少傾向が続いていることから、令和8年度(7年度実施)の教員採用試験については、標準日を5月11日と定めるとともに複数回の実施について教育委員会に通知しました。

文部科学省が通知した令和8年度(7年度実施)教員採用試験の変更内容等

- ① 早期化：一次試験を実施する標準日を5月11日に設定
- ② 複数回実施：大学3年生受験と秋季から冬季にかけて追加的な採用試験を実施

九州地区の令和8年度(7年度実施)教員採用試験の変更内容等

- ① 一次試験の早期化 ※九州内共同実施を中止し各県独自に一次試験日を設定

5月11日：長崎県 期日未定：大分県(9月8日現在)

6月15日：宮崎県 沖縄県 鹿児島県 熊本県 佐賀県 福岡県

福岡市 北九州市 熊本市

- ② 複数回実施 ※3年生前倒し試験(3年生から一次試験を受験可能)

宮崎県：3年生チャレンジ試験(7年6月15日実施)教職教養のみ

令和7年度実施の教員採用試験の早期化及び複数回実施に対する対策

教員採用試験の早期化と3年前倒し試験へ対応として次の対策を実施します。

- ① 早期化対策として、**3年生**を対象とした外部講師の**特別対策講座**を、8月27日から9月20日まで、毎週火曜・水曜・木曜・金曜の1限目と2限目に合計32回(1回90分)実施します。
- ② 宮崎県など「3年生チャレンジ試験」の受験を希望する**2年生**に対して、上記①の対策講座を受講させます。
- ③ 早期化対策として、**10月より**毎週月曜4限目にも外部講師による対策講座を新設します。

3年前倒し試験受験者と宮崎県の受験を希望する学生の声

東京都の3年前倒し試験を受験した感想

教育学部4年 俵崎優子

大学3年時の1月下旬に大学3年生を対象とした選考が発表され、3年生のうちに「教職教養」「専門教養」が受験できることを知りました。試験が7月上旬だったため、約半年間で準備ができるのか、何から始めればいいのか不安でしたが、学生教職支援センターの先生や外部講師の先生方が対策講座等で手厚く指導してくださり、しっかりと準備して試験に臨むことが出来ました。

3年前倒し試験を受験することで、早期に試験対策が始められ、合格すると次年度の負担が軽減されます。また、残念な結果になっても、試験の傾向を掴むことができ、翌年の4年時にも再挑戦することが出来ます。教員になることができる可能性が広がるので是非挑戦してもらいたいです。

宮崎県の「3年生チャレンジ試験」を希望する想い

教育学部2年 川口亮俊

3年前倒し試験に向けて、大きな期待がある反面、不安もあります。大きな期待とは教員になるという夢が目の前に来ていることです。しかし、3年生で受験するという不安もあります。それは、学修が定着する前に受験して合格するのだろうかというものです。その不安を少しでもなくすために、今年の夏からの対策講座にすべて出席し、自信をもって試験に挑めるようにしたいと考えています。

そのため普段の学校生活から学修する習慣を身に付け、前倒し試験、さらにはその翌年の教員採用試験でも合格する努力を今のうちからしたいと考えます。来年があるからという甘い考えは捨て、一生懸命学修し、前倒し試験に絶対に合格したいと思います。

教員採用試験のための外部講師による対策講座



金丸光臣先生



右松照央先生



湯地正隆先生



古賀正樹先生

対策講座を指導してくださる4名の外部講師の先生方は、宮崎県教育委員会事務局職員や小学校の校長として豊富な教職経験のある先生方です。先生方は、本学で長期間にわたって指導していただき、本県の教員採用試験問題を分析され、教員採用試験全員合格を目指して、効率的で効果的な指導を丁寧にしてくださいます。

令和6年度実施の教員採用試験までに実施した外部講師による対策講座

一次試験対策 教職教養・専門教養対策

8月18日～9月22日:**32回**(1回90分) 10月2日～3月29日:**37回**(1回90分)

4月10日～7月5日:**50回**(1回90分)

二次試験対策 模擬授業・個人面接対策

6月19日～7月5日:**80回**(1回90分)

保育士就職模擬試験等の実施

本学では、4年間の学びの成果を図るとともに、公立の幼児教育現場への就職を希望する2年生から4年生に対して、年間2回程度の就職模擬試験を実施しています。幼児教育の現場で働くための専門的な知識を学ぶとともに、希望する公立の保育所や幼稚園等への合格判定の資料として役立っています。なお、**昨年度は宮崎市立公立保育所に1名・都城市役所に2名の学生が合格しました。本年度も宮崎市に1名が合格しました。**

保育士就職模擬試験(幼稚園教諭専門試験を含む)

4月20日に2年生から4年生24名が受験しました。試験内容は、「教養試験」「保育士専門試験」「幼稚園教諭専門試験」で、試験結果として全国順位や学内順位、就職希望自治体の合格可能性判定などの成績表が送付されます。

公立保育所試験対策模擬試験

7月20日に2年生から4年生25名が受験しました。試験内容は、「教養(基礎能力)試験」「専門試験」で、全国順位や学内順位、受験希望自治体別の合格可能性判定などの成績表が送られてきます。



7月20日に実施した公立保育所試験対策模擬試験の様子

両模擬試験ともに、新学習指導要領や各種法改正、最新の教育時事の話題にもいち早く対応していますので、公立自治体の採用試験の出題傾向をつかめるとともに学習状況や模試受験後の学習の指針を確認することができます。専門試験についても多くの校種・教科が設定されています。**この模擬試験を参考にして、多くの学生が公立保育所等の就職試験に挑戦してほしいと願っています。**

編集後記

特集記事にありますように、全国的に公立学校教員採用試験が大きく変わろうとしています。一つは「採用試験の早期化」であり、もう一つは「採用試験の複数回実施」です。

採用試験の早期化も複数回実施も教員採用志願者の増加を図るとともに質の高い教員を確保する観点から実施されるものです。現在、小学校教員は大量退職時代を迎えて倍率が低下し、受験生が多く採用される傾向にあります。基礎学力が不足していると学校現場で必要な学習指導が十分にできないことが予想されます。

そこで、本学では全教科の専門的な知識を指導できる基礎学力を身に付けられるように、「基礎学力向上ゼミ」などを開催しているところです。教員を目指す学生自身も、自信をもって教壇に立てよう基礎学力の向上に自ら積極的に努力してほしいと願っています。